

業 務 番 号							
設計年度	令和7年度		道路構造物補修設計業務委託（市道宮浦34号線外）  三原市 宮浦三丁目外 <div>仕 様 書</div>				
施工月日	令和      年      月      日						
施工方法	委      託						
業務期間							
業                      務                      概                      要			起                      工                      理                      由				
道路構造物補修 N=360箇所 管路実施設計（取付管） L=570.5m							

## 道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦 34 号線外)

### 一般仕様書

#### 第 1 章 総則

##### 1.1 業務の目的

本委託業務（以下「業務」という。）は、本仕様書に基づいて、特記仕様書に示す委託対象地域の工事を実施するために必要な設計図、計画書、設計書等の作成を行うことを目的とする。

##### 1.2 一般仕様書の適用範囲

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

##### 1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

##### 1.4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

##### 1.5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

##### 1.6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

##### 1.7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当たっては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

##### 1.8 許可申請

受注者は、工事に必要な許可申請（占用許可等）に関する事務に必要な図面作成を遅滞なく行わなければならない。

##### 1.9 提出書類

（１）受注者は、業務の着手及び完了に当って、発注者の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

（イ） 着手届 （ロ） 工程表 （ハ） 管理技術者届 （ニ） 職務分担表  
（ホ） 完了届 （ヘ） 納品書 （ト） 業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

##### 1.10 管理技術者及び技術者

（１）受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

（２）管理技術者は、技術士（総合技術監理部門（下水道）、上下水道部門（下水道））又は下水道法に規定された資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的管理を行わなければならない。なお、主要な設計協議ならびに現地調査に出席しなければならない。

（３）受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

##### 1.11 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

##### 1.12 成果品の審査及び納品

（１）受注者は、成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。

（２）成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。

- (3) 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、発注者の検査員の検査をもって、業務の完了とする。
- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

#### 1.13 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

#### 1.14 証明書の交付

必要な証明書及び申込書の交付は、受注者の申請による。

#### 1.15 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、発注者、受注者協議の上、これを定める。

## 第2章 調査

### 2.1 資料の収集

業務上必要な貸料、地下埋設物及びその他の支障物件（電柱、架空線等）については、関係官公署、企業者等において将来計画を含め十分調査しなければならない。

### 2.2 現地路査

特記仕様書に示された設計対象区域について踏査し、地勢、土地利用、排水区界、道路状況、水路状況等現地を十分に把握しなければならない。

### 2.3 地下埋設物調査

特記仕様書に示された設計対象区域について、水道、下水道、ガス、電気、電話等地下埋設物の種類、位置、形状、深さ、構造等をそれらの管理者が有する資料と照合し、確認しなければならない。

### 2.4 公私道調査

道路、水路等について公図並びに土地台帳により調査確認しなければならない。

### 2.5 在来管調査

在来管調査は、2.3 地下埋設物調査で行う範囲を超える調査であり、管路、マンホール及びますの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、底高等現地作業を伴うものをいう。当該調査は別途計上とする。

### 2.6 既設管調査

管路内調査は、TV カメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査図書に基づき管内にて管きよの劣化状況や堆積物等の有無を把握する調査であり、管きよの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、支障物件の状況等現地調査を伴うものをいう。TV カメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査は別途計上とする。

また、測量調査によって既設管きよ及びマンホールの諸元を確認しなければならない。

### 2.7 現場環境調査

道路状況、周辺状況を現地にて把握し、工事の実施における制約条件を確認しなければならない。

## 第3章 設計一般

### 3.1 打合せ

- (1) 業務の実施に当って、受注者は発注者と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。
- (2) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

### 3.2 設計基準等

設計に当っては、発注者の指示する図書及び本仕様書第8章参考図書に基づき、設計を行う上でその基

準となる事項について発注者と協議の上、定めるものとする。

### 3.3 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、発注者との協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

### 3.4 設計の資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

### 3.5 事業計画図書の確認

受注者は、第2章調査の各項の調査等と併せて、設計対象区域にかかる事業計画図書の確認をしなければならない。

### 3.6 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な下水道事業計画図書、測量、土質調査資料、既設管資料、在来管資料、道路台帳、地下埋設物調査、下水道標準構造図等の資料を所定の手続によって貸与する。

### 3.7 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

## 第4章 設計細則（基本設計）

### 4.1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には、発注者の承認を受けなければならない。

#### (1) 位置図

位置図（ $S=1/10,000 \sim 1/30,000$ ）は地形図に設計区域又は設計区間を記入する。

#### (2) 区画割施設平面図

区画割施設平面図（ $S=1/2,500$ ）は、事業計画において作成した区画割図面に基づいて枝線の区画割を行い、設計区域又は設計区間の区間番号、形状、管径、勾配、区間距離、区画の面積及び幹線・排水区又は処理区等の名称を記入すること。

#### (3) 縦断面図

縦断面図（ $S=$ 縦  $1/100$ 、横  $1/2,500$ ）は、区画割施設平面図と同一記号を用いて次の事項を記入すること。管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、位置・形状、寸法等及び河川の現在と計画の底高、高水位並びに幹線、処理区等の名称を記入すること。

#### (4) 流量計算表

流量計算表は、事業計画において作成された流量表に基づいて、管きよの断面、勾配を決定し、起終点の管底高、地盤高、土被り、流入管記号を記入すること。

#### (5) 概略構造図

概略構造図（ $S=1/50 \sim 1/100$ ）は、次の要領で作成する。

発注者の下水道標準構造図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造のものは、縦断面図と同一記号を用いて図面を作成する。

特殊なマンホール、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越等特に構造図を必要とするものについて概略の形状図を作成する。

### 4.2 概略工法検討

概略工法検討業務は、設計対象路線の管路布設工法（開削、推進、シールド）の選定を行うものである。ただし、個所別詳細な工法の検討は詳細設計で行うものとする。

### 4.3 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、位置、設計の目的、

調査・計画の概要、設計計画、概略工法検討等を集成するものとする。

## 第5章 設計細則（新設・布設替え及び改築・修繕詳細設計）

### 5.1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には発注者の承認を受けなければならない。

#### (1) 位置図

位置図(S=1/10、000～1/30、000)は地形図に施工箇所を記入する。

#### (2) 平面図

平面図(S=1/500)は、測量による平面図及び道路台帳に基づいて、設計区間の占用位置、マンホール及び立杭の位置・管きよの区間番号、形状、管径、勾配、区間距離及び管きよの名称等を記入する。

#### (3) 詳細平面図

詳細平面図(S=1/50～1/100)は主要な地下埋設物さくそう箇所、重要構造物近接箇所及び河川、鉄道、国道等横断箇所等特に詳細図を必要とし、発注者が指示する場合に平面図及び横断面図を作成する。

#### (4) 横断面図

横断面図(S=1/50～1/100)は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、地盤高、管底高及び必要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び管きよの名称又は横断位置の名称等を記入する。

#### (5) 開削断面図

開削断面図(S=1/10～1/100)は、次の要領で記入する。

管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、地盤高、管底高及び必要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び管きよの名称又は横断位置の名称等を記入する。

#### (6) 仮設図

仮設図(S=1/10～1/100)は、次の要領で記入する。

設計図には、掘削幅、長さ、深さ、地盤高、床掘高及び使用する材料の位置、名称、形状、寸法、他の地下埋設物防護工並びに補助工法の範囲、名称等を記入する。

### 5.2 各種計算

管きよ、管基礎、推進力及び構造計算、仮設計算、補助工法、耐震設計等の計算に当っては、発注者と十分打合せの上、計算方針を確認して行わなければならない。

### 5.3 数量計算

土工、管、管基礎、覆工等及び構造物、仮設、補助工法、事前事後処理等材料別に数量を算出する。

### 5.4 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、設計の目的・概要・位置、設計項目、設計条件、土質条件、埋設物状況、施工方法、工程表等を集成するものとする。

## 第6章 照査

### 6.1 照査の目的

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

### 6.2 照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。

### 6.3 照査事項

受注者は設計全般にわたり、以下に示す事項について照査を実施しなければならない。

#### (1) 基本条件の確認内容について

- (2) 比較検討の方法及びその内容について
- (3) 設計計画（設計方針及び設計手法）の妥当性について
- (4) 計算書（構造計算書、容量計算書、数量計算書、耐震設計計算書等をいう。）について
- (5) 計算書と設計図の整合性について

## 第7章 提出図書

### 7.1 提出図書

提出図書は、以下に示す図書や過去の類似業務の成果等から発注者と協議のうえ選定する。

### 7.2 実施設計関係提出図書（基本設計）

図書	縮尺	形状寸法・提出部数
(1) 位置図	1/10、000～1/30、000	原図1式・白焼き3部
(2) 区画割施設平面図	1/2、500	"
(3) 縦断面図	縦1/100、横1/2、500	"
(4) 流量計算表		A4又はA3・3部
(5) 概略構造図	1/10～1/100	原図1式・白焼き3部
(6) 概略工法検討書		A4・3部
(7) 報告書		"
(8) 打合せ議事録		"
(9) その他参考資料（地下埋設物調査資料他）		原稿1式

### 7.3 実施設計関係提出図書（詳細設計）

図書名	縮尺	形状寸法・提出部数
(1) 位置図	1/10、000～1/30、000	A3・2部
(2) 施設平面図	1/300～1/500	"
(3) 詳細平面図	1/100～1/300	"
(4) 横断面図	1/50～1/100	"
(5) 開削断面図	1/10～1/100	"
(6) 仮設図	1/10～1/100	"
(7) 数量計算書		A4・2部
(8) 報告書		"
(9) 特記仕様書		"
(10) 打合せ議事録		"
(11) その他の資料		"

設計に伴って収集・調査した資料及びその他申請等に関する資料

## 第8章 参考図書

### 8.1 参考図書

業務は、下記に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

- (1) 発注者の下水道構造標準図
- (2) 発注者の下水道設計基準
- (3) 発注者の道路埋設標準定義
- (4) 下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）

- (5) 下水道維持管理指針（日本下水道協会）
- (6) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説（日本下水道協会）
- (7) 下水道管路施設設計の手引（日本下水道協会）
- (8) 下水道施設の耐震対策指針と解説（日本下水道協会）
- (9) 下水道施設耐震計算例－管路施設編（日本下水道協会）
- (10) 下水道推進工法の指針と解説（日本下水道協会）
- (11) 管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン（日本下水道協会）
- (12) 下水道マンホール安全対策の手引き（案）（日本下水道協会）
- (13) 水理公式表（土木学会）
- (14) コンクリート標準示方書（土木学会）
- (15) トンネル標準示方書（シールド工法編）・同解説（土木学会）
- (16) トンネル標準示方書（山岳工法編）・同解説（土木学会）
- (17) トンネル標準示方書（開削工法編）・同解説（土木学会）
- (18) 道路技術基準通達集（国土交通省）
- (19) 道路構造令の解説と運用（日本道路協会）
- (20) 道路土工－仮設構造物工指針（日本道路協会）
- (21) 道路土工－擁壁工指針（日本道路協会）
- (22) 道路土工－カルバート工指針（日本道路協会）
- (23) 共同構設計指針（日本道路協会）
- (24) 道路橋示方書・同解説（日本道路協会）
- (25) 水門鉄管技術基準（電力土木技術協会）
- (26) 改訂新版建設省河川砂防技術基準（案）同解説（日本河川協会）
- (27) 港湾の施設の技術上の基準・同解説（日本港湾協会）

## 道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦 34 号線外)

### 特記仕様書

#### 1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は「道路構造物補修設計業務委託（市道宮浦 34 号線外） 一般仕様書」の第 1 章 1.1 及び 1.2 に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記一般仕様書による。

#### 2. 業務の対象

- (1) 名称 道路構造物補修設計業務委託（市道宮浦 34 号線外）
- (2) 位置 三原市宮浦三丁目外
- (3) 設計条件項目
  - ① 修繕箇所の耐震計算は不要とする
  - ② 補修対象箇所の増減、工区分けによる設計変更は行わない
  - ③ 構造調査として潜行目視以外の調査が必要になった際には、発注者と協議すること
  - ④ 関連部局との調整が必要となった際には、速やかに必要な資料を作成すること

#### 3. その他特記事項

- (1) 業務の目的

本業務の目的は、重点調査において発見された異状について、道路陥没が発生しないよう早期に対策工事を実施するために必要な図書を作成することを目的としている。
- (2) 工法の選定

工法選定に当たっては、道路陥没防止の視点、本管の強度や機能復元などの視点、施工上の安全性確保の視点、迅速施工の視点等を踏まえ選定すること。
- (3) 対策実施箇所の精査と提案

基礎資料の収集整理において収集した重点箇所調査業務の成果品を基に、本実施設計で対応すべき異状箇所を精査するとともに、異状の進展により陥没が発生すると考えられる異状箇所については、早期に対策方針を提案すること。
- (4) 工期内の工事実施に関する対応

土木管理課で対応する異状について、急激な異状の進行等により道路陥没の危険性が高まった場合には、工期内においても当該箇所の工事発注に必要となる図書を作成し提出すること。
- (5) 施工困難となった場合の対応

当設計業務の成果を基に発注された工事において、施工環境、周辺環境の変化や想定外の事象により現場で対策工事の施工が困難になった場合には、代替案の提案を速やかに行うこと。
- (6) 成果品の電子データ

本業務の履行に当たり作成したデータは、成果品としてオリジナルデータを納品すること。また、表計算ソフトを使用した場合には、計算式（マクロ含む）を残した状態で納品すること。



# 工事数量総括表

頁 1

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備考
設計業務費					
設計業務等標準歩掛				1	レベル1
共通				1	レベル2
打合せ等				1	レベル3
打合せ等				1	レベル4
詳細設計				1	レベル2
詳細設計				1	レベル3
下水道施設設計(詳細・開削)				1	レベル4
報告書作成				1	レベル4
* * 直接人件費 * *					
直接経費					
旅費交通費				1	レベル2
旅費交通費				1	レベル3
旅費交通費				1	レベル4
電子成果品作成費				1	レベル2
電子成果品作成費				1	レベル3
電子成果品作成費				1	レベル4

## 工事数量総括表

頁 2

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備考
安全費				1	レベル2
安全費				1	レベル3
安全費				1	レベル4
**直接原価**					
その他原価					
**間接原価**					
**業務原価**					
一般管理費等					
**業務価格**					
消費税等相当額					
**業務委託料**					
消費税相当額計					
業務費計					

# 参 考 資 料

—道路構造物補修設計業務委託（市道宮浦34号線外）—

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.10.01(0)		凡例 Co …コンクリート      As …アスファルト DT …ダンプトラック    BH …バックホウ CC …クローラクレーン   TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託		
	当世代	前世代	
発注区分	41 建設コンサル		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 設計業務費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
設計業務等標準歩掛					Y2C02 レベル1
	1	式			
共通					Y2C0201 レベル2
	1	式			
打合せ等					Y2C020101 レベル3
	1	式			
打合せ等					Y2C02010101 レベル4
	1	式			
設計協議					V00020 00
	1	式			単第0 -0001 表
詳細設計					Y2C0202 レベル2
	1	式			
詳細設計					Y2C020201 レベル3
	1	式			
下水道施設設計（詳細・開削）					Y2C02020101 レベル4
	1	式			

# 設計業務費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路施設実施設計（開削） 新設 開削工法（内径1200mm未満）	1	式			V0001 00  単第0 -0005 表
報告書作成	1	式			Y2C02020104レベル4
報告書作成	1	式			V0040 00  単第0 -0013 表
* * 直接人件費 * *					
直接経費					Z0001
旅費交通費	1	式			YZZ0101 レベル2
旅費交通費	1	式			YZZ010101 レベル3
旅費交通費	1	式			YZZ01010101レベル4
旅費交通費（設計）	1	式			S2Z0101X3 00  単第0 -0014 表

# 設計業務費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電子成果品作成費					YZZ0102 レベル2
	1	式			
電子成果品作成費					YZZ010201 レベル3
	1	式			
電子成果品作成費					YZZ01020101 レベル4
	1	式			
電子成果品作成費(設計) 概略設計，予備設計及び詳細設計					S2Z0102X3 00
	1	式			単第0 -0015 表
安全費					YZZ0106 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ010601 レベル3
	1	式			
安全費					YZZ01060101 レベル4
	1	式			
交通誘導警備員B					R0369 00
	7	人			
* * 直接原価 * *					

# 設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
その他原価					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 間接原価 * *					
* * 業務原価 * *					
一般管理費等					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
業務価格計					
消費税相当額計					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
業務費計					



## 施工単価表

頁0 -0006

## 設計協議

V00020

單第0 -0001 表

1 式 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0007

## 第1回打合せ

V00021

單第0 -0002 表

1

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0008

## 中間打合せ

V00022

單第0 -0003 表

1

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

## 最終打合せ

V00023

單第0 -0004 表

頁0 -0009

式 当り

[illegible]

# 施工単価表

頁0 -0010

管路施設実施設計（開削）  
新設 開削工法（内径1200mm未満）

V0001

単第0 -0005 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
資料収集	1	式			単第0-0006 表
現地踏査（潜行目視含む）	1	式			単第0-0007 表
現地作業	1	式			単第0-0008 表
各種計算	1	式			単第0-0009 表
設計図作成	1	式			単第0-0010 表
数量計算	1	式			単第0-0011 表
照査	1	式			単第0-0012 表
詳細設計補正值		式			
*** 単位当たり ***	1	式			

## 施工単価表

資料取集

V0002

單第0 -0006 表

頁0 -0011

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

現地踏査（潜行目視含む）

V0004

單第0 -0007 表

頁0 -0012

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0013

## 現地作業

V0005

單第0 -0008 表

1

式 当り

[illegible]



## 施工単価表

頁0 -0014

## 各種計算

V0007

單第0 -0009 表

1

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

設計図作成

V0008

單第0 -0010 表

頁0 -0015

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0016

## 数量計算

V0009

單第0 -0011 表

1

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0017

照查

V0010

單第0 -0012 表

1

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

報告書作成

V0040

單第0 -0013 表

頁0 -0018

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0019

旅費交通費（設計）

S2Z0101X3

單第0 -0014 表

1

式 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0020

電子成果品作成費(設計)  
概略設計，予備設計及び詳細設計

S2Z0102X3

單第0 -0015 表

1

式 当り

[illegible]

# 道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦34号線外) 取付管等一覧表

路線番号	管種	管径	スパン長	構造物	左右	取付管数	取付管延長	異状箇所数	備考
1013570	現場うちボックスカルバート矩形	□ 1300*1500			無				P1
					無				P2
1013579～1013321	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2100*2100	106.50		無				P3
					無				P4
				取付管等	左	1	2.6	1	P5
1013580～1013220	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2100 * 1300	308.75	取付管等	右	2	4.8	3	P6
				取付管等	右	2	4.4	2	P7
				取付管等	右	4	9.6	5	P8
				取付管等	右	1	2.4	2	P9
					無				P10
1014166～1007868	現場うちボックスカルバート矩形	□ 1100*1100	44.25	取付管等	右	1	2.0	1	P11
					無				P12
1014501	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2500*2500	44.50	取付管等	左	1	1.2	1	P13
					無				P14
1014502	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2500*2500	8.05	取付管等	左	1	1.2	1	P15
1014503	現場うちボックスカルバート矩形	□ 3200*2600			無				P16
1007831	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2000*2000	81.60	取付管等	右左	5	32.0	6	P17
1007832	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2000*2000	49.15	取付管等	右	2	12.8	2	P18
1007834～1007833	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2000*2000	46.95	取付管等	右左	4	25.6	4	P19
1007843～1007991	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2500*2500	50.61	取付管等	右左	2	4.4	2	P20
1007867～1013578	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2100*2100	84.80	取付管等	右左	5	8.0	6	P21
				取付管等	右左	2	3.2	2	P22
				取付管等	右	1	1.6	2	P23
1007988	現場うちボックスカルバート矩形	□ 3000*2600	35.05	取付管等	右左	4	8.0	6	P24
				取付管等	右左	3	6.0	4	P25
1007989	現場うちボックスカルバート矩形	□ 3000*2600	28.65	取付管等	右左	5	8.5	7	P26
1007992～1008193	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2500*2500	65.71	取付管等	右左	6	12.9	6	P27
1008000～1008001	現場うちボックスカルバート矩形	□ 3200*2600			無				P28
1008061	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2500*2500			無				P29
1008062	現場うちボックスカルバート矩形	□ 2500*2500	35.15	取付管等	右	1	6.2	2	P30



道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦34号線外) 取付管等一覧表

[illegible]

# 道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦34号線外) 取付管等一覧表

路線番号	管種	管径		スパン長	構造物	左右	取付管数	取付管延長	異状箇所数	備考
1008480	現場うちボックスカルバート矩形	□	3700*2600	30.30	取付管等	左	2	2.4	3	P56
1008481	現場うちボックスカルバート矩形	□	3700*2600	29.32	取付管等	右左	2	2.4	3	P57
1008482	現場うちボックスカルバート矩形	□	2300*1800	52.80	取付管等	右左	7	9.8	11	P59
1008482	現場うちボックスカルバート矩形	□	2300*1800			無				P60
1008483	現場うちボックスカルバート矩形	□	3000*2600			無				P61
1008484	現場うちボックスカルバート矩形	□	2400*2400	29.72	取付管等	右左	2	3.6	2	P62
1008485～1008486	現場うちボックスカルバート矩形	□	2400*2400	87.75	取付管等	右左	5	9.0	5	P63
					取付管等	右左	3	5.4	3	P64
					取付管等	左	1	1.8	3	P65
1008639	現場うちボックスカルバート矩形	□	2250*1800	60.20	取付管等	左	1	4.0	1	P66
					取付管等	左	1	3.4	1	P67
1008640	現場うちボックスカルバート矩形	□	2250*1800			無				P68
1008641	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1700			無				69、70
1008642	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1750			無				P71
1008695	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1500	17.70	取付管等	右	1	4.0	1	P72
1008696	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1550	50.30	取付管等	左	1	4.0	1	P73
					取付管等	右	1	4.0	1	P74
1008697	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1500			無				P75
1008698	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1500	50.00	取付管等	右	1	4.0	1	P76
					取付管等	左	2	8.0	2	P77
1008801	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*2000	95.20	取付管等	右	1	3.4	2	P78
					取付管等	右	3	10.2	4	P79
					取付管等	左	1	3.4	3	P80
1008802	現場うちボックスカルバート矩形	□	3500*2000			無				P81
1008803	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*2000	80.67	取付管等	右左	4	4.0	5	P82
					取付管等	右	2	2.0	3	P83
1008806～1008804	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*2500			無				P84
1008809	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*2000			無				P85

# 道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦34号線外) 取付管等一覧表

路線番号	管種	管径		スパン長	構造物	左右	取付管数	取付管延長	異状箇所数	備考
1008832～1008938	現場うちボックスカルバート矩形	□	2250*1800	113.62		無				P86
					取付管等	右	2	2.8	2	P87
					取付管等	右左	2	2.8	2	P88
1008839	現場うちボックスカルバート矩形	□	3200*2600			無				P89
1008865～1008866	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1500	43.60	取付管等	右	1	4.0	2	P90
1008912～1007844	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*2500	32.65	取付管等	右左	4	4.8	4	P91
1008948	現場うちボックスカルバート矩形	□	2250*1800	42.27	取付管等	右左	6	8.4	9	P92
1008979	現場うちボックスカルバート矩形	□	2250*1800	35.92	取付管等	右左	3	4.2	4	P93
1008986	現場うちボックスカルバート矩形	□	2300*1800	36.07	取付管等	右左	3	4.2	4	P94
1009167	現場うちボックスカルバート矩形	□	3200*2600	37.40	取付管等	右左	2	13.0	3	P95
1009238	現場うちボックスカルバート矩形	□	2100*1500	38.05	取付管等	左	1	4.2	1	P96
						無				P97
1009274	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*1500	31.55	取付管等	右左	5	6.5	6	P98
					取付管等	右左	2	2.6	4	P99
1009275～1009282	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*1500	63.62	取付管等	右左	4	4.8	4	P100
					取付管等	右左	2	2.4	3	P101
1009278	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*1500	32.85	取付管等	左	1	1.3	3	P102
						無				P103
1009279	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*1500	30.15	取付管等	右	2	2.6	2	P104
						無				P105
1009616	現場うちボックスカルバート矩形	□	2300*2300	29.50	取付管等	右左	3	19.5	5	P106
1009617	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*2500			無				P107
						無				P108
1009994	現場うちボックスカルバート矩形	□	3000*2600	39.10	取付管等	右左	5	5.0	10	P109
					取付管等	左	1	1.0	1	P110
1009995	現場うちボックスカルバート矩形	□	3000*2600	74.65	取付管等	右左	4	4.0	5	P111
					取付管等	右	1	1.0	1	P112
						無				P113
1009997～1009998	現場うちボックスカルバート矩形	□	3000*2600	50.75	取付管等	右左	5	5.0	10	P114

# 道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦34号線外) 取付管等一覧表

路線番号	管種	管径		スパン長	構造物	左右	取付管数	取付管延長	異状箇所数	備考
				56.95	取付管等	右	1	1.0	2	P115
						無				P116
1010000～1009999	現場うちボックスカルバート矩形	□	3000*2600	117.45	取付管等	左	3	2.7	4	P117
					取付管等	右左	3	2.7	4	P118
					取付管等	左	1	0.9	1	P119
						無				P120
1010001	現場うちボックスカルバート矩形	□	3000*2600	26.55	取付管等	右左	5	4.5	5	P121
1010002	現場うちボックスカルバート矩形	□	4100*2600	83.70	取付管等	右	2	1.0	2	P122
					取付管等	右左	2	1.0	4	P123
1010003～1008814	現場うちボックスカルバート矩形	□	4100*2600	499.75	取付管等	左	2	2.4	3	P124
					取付管等	右	1	1.2	1	P125
					取付管等	右	1	1.2	2	P126
					取付管等	右左	3	3.6	4	P127
					取付管等	右左	6	7.2	6	P128
					取付管等	右左	2	2.4	2	P129
					取付管等	右	2	2.4	3	P130
					取付管等	右左	5	11.0	5	P131
					取付管等	右	2	4.4	3	P132
						無				P133
1010011～1010012	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1500	26.10	取付管等	右左	5	12.5	8	P134
						無				P135
1011051	現場うちボックスカルバート矩形	□	2100*2100			無				P136
1011052～1011053	現場うちボックスカルバート矩形	□	2300*2500			無				P137
1011064	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*2000			無				P138
	現場うちボックスカルバート矩形	□	2500*2500			無				P139
1013323	現場うちボックスカルバート矩形	□	2100*1200	44.80	取付管等	右	3	7.8	4	P140
					取付管等	右	1	2.6	1	P141
1013327～1013325	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*2000	95.25	取付管等	右	1	3.4	1	P142
					取付管等	右	3	10.8	7	P143
					取付管等	右左	3	10.8	8	P144
					取付管等	右	2	7.2	2	P145
1013228	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1900	69.55	取付管等	左	1	3.6	1	P146
					取付管等	右	2	7.2	3	P147
						無				P148
1013329	現場うちボックスカルバート矩形	□	2000*1500	90.57	取付管等	左	1	3.6	1	P149

## 道路構造物補修設計業務委託(市道宮浦34号線外) 取付管等一覧表

[illegible]



# 道路構造物補修設計 路線位置図

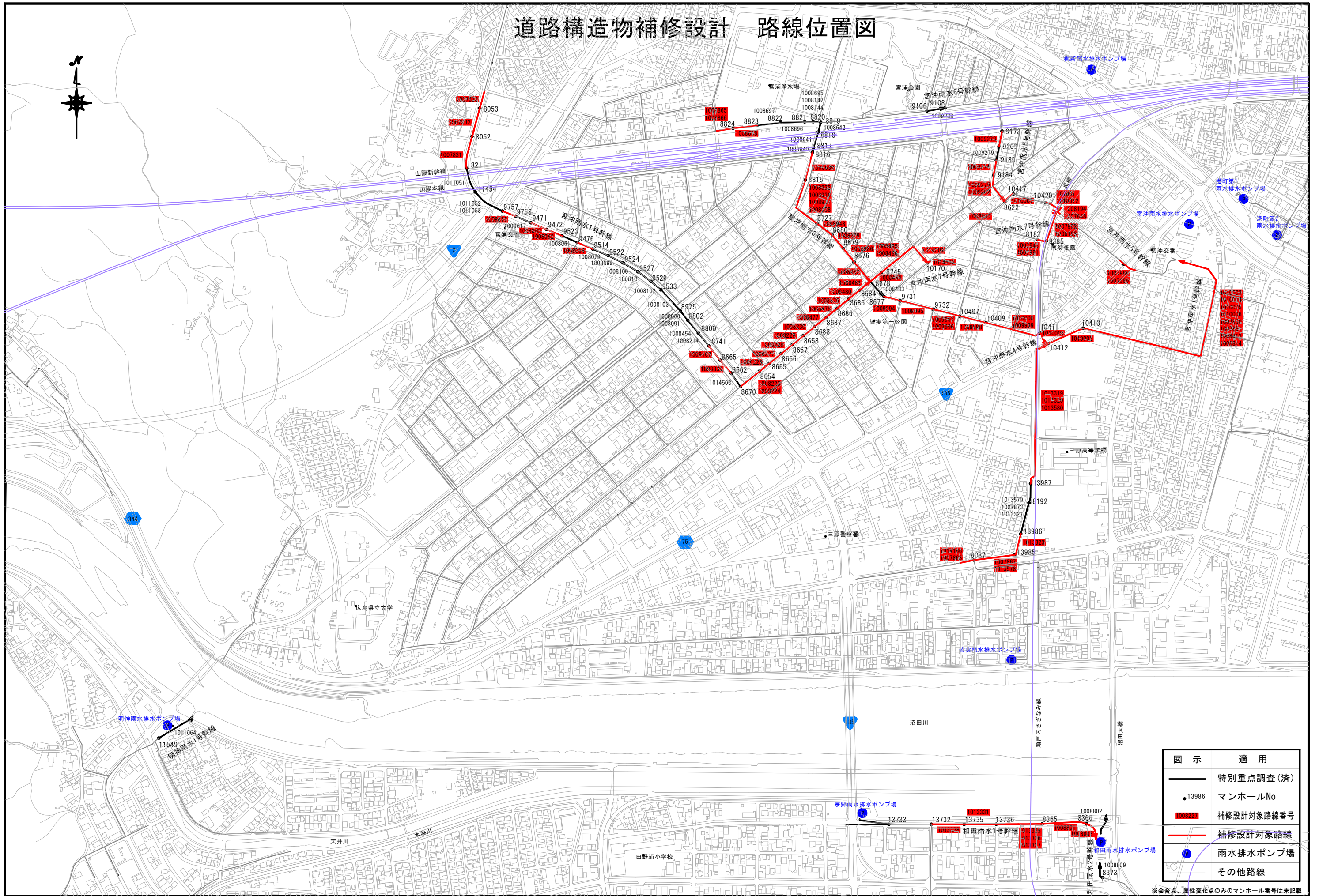


図 示	適 用
——	特別重点調査(済)
● 13986	マンホールNo
1008227	補修設計対象路線番号
——	補修設計対象路線
●	雨水排水ポンプ場
——	その他路線

※合点、属性変化点のみのマンホール番号は未記載



# 位置図

